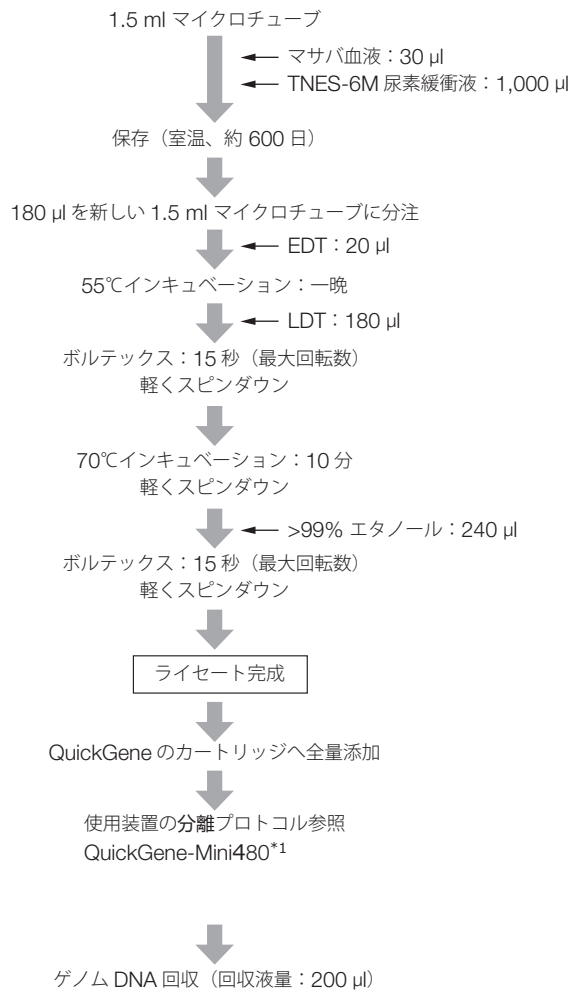


## TNES-6M尿素緩衝液中で長期間保存されたマサバ血液からのゲノムDNA分離

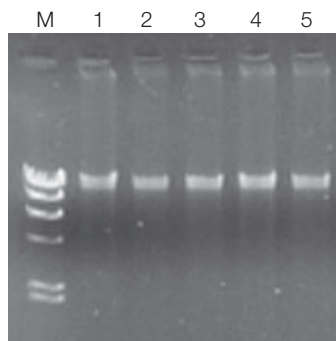
### プロトコル



\*1 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他QuickGeneシリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

### 結果

#### 電気泳動図



M： $\lambda$ -Hind III digest  
1～5：マサバサンプル

■ ゲノム DNA の収量

	サンプル 1	サンプル 2	サンプル 3	サンプル 4	サンプル 5
収量 (μg)	13.2	11.6	9.5	9.1	16.6

■ タンパク質の混入：A260/280

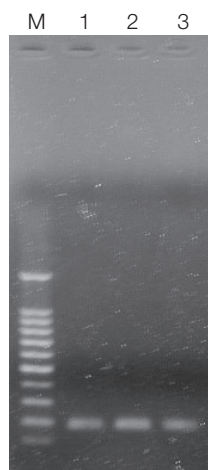
データなし

■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

■ その他

● PCR



M：マーカー（100 bp DNA Ladder：TaKaRa）  
1～3：マサバサンプル

QuickGene システムを用いて、TINES-6M 尿素緩衝液中で長期間保存されたマサバの血液から分離した DNA を用いて、マイクロサテライトの PCR を行った。  
いずれのサンプルでも増幅産物の電気泳動バンドを検出できた。

■ 共通プロトコルサンプル

データなし